

主題名「きもちのよい いえのせいかつ」

本時は「そこだね ポンタくん」という読み物を通して、片付けや、一つのことに夢中になりすぎてやるべきことが後回しになってしまう自分たちの生活に気づき、身の回りを整えることで規則正しい生活をしようとする態度を育てようとするものです。昨年度から道徳授業を中心に授業研究を行ってきましたが、本年度は新たに田邊先生を加え、研修していきます。



1 身近な問題から課題提示

身の回りの整理整頓ができていないとどうなるかを、きれいな図書館と乱れた図書館を比較し、選択させることから考えさせました。子供たちは自己選択を迫られることから、自分の問題として捉えることができました。

2 主人公にアドバイスすることで考えを引き出す

自分のことはなかなかいえませんが、主人公が困っている姿にアドバイスを与えるという手法を用いることで、活発な発言を引き出すことができました。人のこととなるといいことが言えるものです。

3 友達の困っていることを解決する

資料を学習した後、自分たちはどうだろうということを考えました。その中で2名の困っていること「ものを置き忘れてしまう」「ユーチューブを見すぎてしまう」それぞれについて、みんなで解決案を出し合いました。コの字型に机を移動し、互いの顔が見合えるように工夫されています。友達のことを考えながら、案外自分のことに重ねて考えるものです。これは、教科指導の中でも使える手法です。



4 導入に戻す

導入で使った図書室の使い方について、常岡先生の話を用いました。自分だけが気持ちよくなるのではなく、みんなが気持ちよくなれるようにという意欲付けになりました。実際に常岡先生が話をされるともっと響いたかなという後の話でした。

5 実践へ

道徳授業が終わった後、U児のまわりにたくさんの紙くずが散乱していました。気づいた子供たちがすぐにきれいに片付けていました。見事に実践的意欲の培われた授業であったと言えます。



道徳は、全ての教科学習の基本となるものだと思います。道徳授業が自信をもってできれば、どの教科も難しいものではありません。

来週7月9日(月)1校時は河村先生が2年2組で授業します。時間がゆるせばご参観ください。

